

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	放課後等デイサービス ジョイジョイ			
○保護者評価実施期間	令和7年2月10日		～	令和7年3月14日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	43	(回答者数)	31
○従業者評価実施期間	令和7年2月10日		～	令和7年3月5日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	9	(回答者数)	9
○事業者向け自己評価表作成日	令和7年4月1日			

○ 分析結果

	事業所の強み(※) だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援をしている。	担当制にしているので、1年間は同じスタッフが個別療育の学習を担当している事で学習以外のこどもの話や様子を深く知ることができ、信頼関係を築きやすい。また、特性に応じたの専門性もったスタッフを配置している。	担当を置くことで一方向の支援にならないように情報を共有する。また、スタッフとこどもの相性が合わない場合は、途中で交代する事も検討していく。
2	こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画(個別支援計画)を作成している。	日々の情報共有を日誌やミーティングなどで密にしなが、子ども自身、保護者の願いを考えている。計画を立てたら、担当スタッフがチェックし、意見を仰いでいる。	基本的には児童発達支援管理責任者が計画を立てるが、担当スタッフの意見も聞きつつ、より良い計画を立てていきたい。
3	事業所の職員が共感的に支援している。	6ヶ月に1回の面談の際は、特別な理由がない限りは、担当スタッフが同席して、日々の様子を伝えている。	複数利用しているこどもに対しては、複数のスタッフを置いたりしながら、より共感できる人を増やしてこどもや保護者の安心に繋げる。

	事業所の弱み(※) だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が保護者に周知・説明されているかについて。	毎年、この評価が低いので、今年度は、年度の始めに、紙面上で周知したが、あまり伝わっていない気がする。	もう少し、アピールしながらマニュアル作成している事を説明する。
2	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援について。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援について。	保護者会は、今年度は学習に関する学習会を行ったが、興味関心がすべての保護者を対象としたものでなかったと思う。また、開催日が平日か土曜日かで参加できる方とそうでない方がいた、と感じる。	今年度は当事者である保護者の講演会を開催したいと考えている。共感できる家族の参加を増やしたい。
3	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会について。	どのようにコンタクトをとればいいのか分からない。周りのデイサービスでも開催されている事を聞いたことがない。	複数の事業所で企画してみたり、方法を考えたい。